



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月13日

上場会社名 株式会社GENOVA 上場取引所 東
 コード番号 9341 URL https://genova.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平瀬 智樹
 問合せ先責任者 (役職名) 上級執行役員財務部長 (氏名) 上田 明尚 TEL 03 (5766) 1820
 定時株主総会開催予定日 2024年6月21日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月24日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家及び個人投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	8,683	33.3	2,301	32.7	2,309	34.7	1,726	37.0
2023年3月期	6,513	35.6	1,733	64.4	1,714	61.9	1,260	83.6

(注) 包括利益 2024年3月期 1,729百万円 (37.0%) 2023年3月期 1,262百万円 (85.0%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	97.35	96.50	35.2	33.9	26.5
2023年3月期	76.61	73.07	45.6	41.7	26.6

(注) 当社は、2022年12月23日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2023年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から2023年3月期末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	8,199	6,037	70.5	324.82
2023年3月期	5,414	4,046	74.6	229.47

(参考) 自己資本 2024年3月期 5,779百万円 2023年3月期 4,038百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	1,822	△94	376	5,965
2023年3月期	1,203	△113	1,131	3,860

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00	—	28.5	—

(注) 2025年3月期(予想) 期末配当の内訳 普通配当10円00銭 記念配当20円00銭 (創業第20期記念配当)

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,026	26.3	1,080	11.5	1,080	11.2	739	18.1	41.54
通期	10,929	25.9	2,753	19.6	2,733	18.3	1,870	8.3	105.13

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年3月期	17,794,100株	2023年3月期	17,598,100株
2024年3月期	38株	2023年3月期	0株
2024年3月期	17,737,802株	2023年3月期	16,448,087株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	8,541	33.8	2,257	33.0	2,271	34.8	1,702	37.1
2023年3月期	6,383	36.6	1,697	69.7	1,684	64.6	1,242	86.4

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	96.00	95.16
2023年3月期	75.52	72.03

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2024年3月期	8,081		5,953		70.5		320.10	
2023年3月期	5,308		3,968		74.8		225.51	

(参考) 自己資本 2024年3月期 5,695百万円 2023年3月期 3,968百万円

2. 2025年3月期の個別業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期（累計）	4,948	26.6	1,082	13.1	741	19.9	41.66	
通期	10,751	25.9	2,711	19.4	1,856	9.0	104.32	

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであり、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は記載の見通しとは異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2024年5月13日（月）に機関投資家及び個人投資家向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、当社ウェブサイトに掲載及びTDnetに開示する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(収益認識関係)	14
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、当連結会計年度の末日現在において判断したものであります。

当連結会計年度におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症が克服されていく中、社会経済活動の正常化が進みインバウンドを含む人流もコロナ前の水準を上回り、国内外の需要や経済活動に活気を取り戻しつつあります。

一方で、ウクライナ情勢を含む地政学リスクの長期化に加え、中東情勢が緊迫化するなど不安定な状況は継続し、資源や資材価格を含む原材料やエネルギー価格の高騰、また金融市場では米国の物価上昇率が2%に戻るのに想定以上の時間を要していることから、市場での利下げ観測が一段と先送り感が強まり、円安進行を含む資本市場へも大きな影響が懸念され、我が国の景気の先行きは引き続き注意が必要な状況が継続しております。

このような事業環境のもと、当連結会計年度においては、メディカルプラットフォーム事業の主力事業である「Medical DOC」については顧客事業所数、契約件数、契約単価が全て引き続き堅調に推移いたしました。また、スマートクリニック事業の「NOMOCaシリーズ」「CLINIC BOT」に加え、当連結会計年度の第2四半期に導入した新サービスの「NOMOCa AI chat」が販売開始以降、継続的に反響を呼んでおります。こちらのサービスはお客様のクリニックのFAQデータやWEBサイト情報をもとに、ChatGPTを搭載することで、複雑な質問に口語体で自然にAI chatbotが受け答えます。本サービスは当社のスマートクリニック事業が新たに掲げたビジョンである「クリニックオートメーションによる患者さんの利便性・クリニックの生産性最大化」に沿っており、今後も拡大することを期待しております。

当社の成長ドライバーである人員においては、当連結会計年度の第1四半期に入社した新卒約50名の教育・育成に積極投資を継続しつつ、同時に即戦力となりえる人員の採用を継続的に行い、前年と同様に人的資本に対して強化する方針としております。また、事業拡大に伴い当社の9拠点目となる広島営業所を開設し、営業を開始いたしました。このように新人員と新拠点が共に稼働することにより、当社グループの主力事業のオーガニック成長に貢献し、また、非連続的な成長の創出にも積極的に取り組むため、新事業・新サービスに向けた事業提携も引き続き検討を進めております。

セグメントごとの経営成績を示すと、以下のとおりです。

①メディカルプラットフォーム事業

医療メディアであるMedical DOCを中心に、医療機関と患者さんへの適切な医療情報のマッチングを実現しております。当メディアでは、月間PV数は継続して伸長しており、2月には過去最高の1,449万超の月間PV数を獲得し、四半期平均でも過去最高の約1,388万PVまで推移を伸ばすことに成功しました。

当連結会計年度では、第2四半期からMedical DOCの中でも各治療や診療科目に特化した特化型サイトを複数追加し、本格稼働を開始しました。当特化型サイトでは、各治療において基準を満たし、豊富な治療経験を持つ信頼のできるプロフェッショナルドクターの医療機関を紹介するサービスとして提供しております。超高齢化社会を迎えた現代の日本において健康寿命増進という社会課題を解決すべく、利用者の皆様により一層適切な情報へアクセスいただくことを目的としております。利用者に求められるコンテンツの掲載ができていることから、月間PV数の増加を背景に顧客事業所数が伸長し増収となり、当連結会計年度の契約件数は3,804件となりました。

この結果、セグメント売上高は5,422,111千円（前年同期比32.8%増）、セグメント利益は2,975,325千円（前年同期比31.3%増）となりました。

②スマートクリニック事業

スマートクリニック事業では、新たに掲げたビジョンである「クリニックオートメーションによる患者さんの利便性・クリニックの生産性最大化」を軸に、主に、クリニックの業務効率化を進め、医療人材不足への対応、不要な医療事務業務の撲滅、患者さんの待ち時間短縮を目指しサービス開発を進めております。当連結会計年度の第2四半期から販売を開始した「NOMOCa AI chat」はクリニックの受付業務の1つである「電話業務」にかかる時間やコストを削減し、医療DX化により、ヒトからAIへタスクシフトすることでスタッフの余裕ある時間を生み出し、更には患者さんの利便性を向上することを目的としている取り組みになります。サービスの提供を開始してから医療機関からは継続的なニーズの獲得ができており、リリース以降半年で累計700件以上の契約件数まで成長し、医療機関の生成AI利用の推進を実現しております。今後も、仮予約や利便性向上を目的とした開発を行い、更なる医療DX推進に貢献していく予定です。

このような新たなサービス以外でも当連結会計年度の第4四半期では株式会社Doctorbookを始め、mappin株式会社、株式会社メディカルフォースと様々な企業と事業連携を開始しました。Doctorbookは歯科医師や歯科衛生士などの歯科医療従事者向けメディア「Doctorbook academy」を運営しており、連携することにより深刻化する医療業界の人材不足を求人情報コンテンツの提供により解消に貢献することを目的としております。mappinは医療機関向

在庫管理・自動発注システム「pitto (ピット)」を運営しており、当社と連携をすることによりクリニックの在庫管理と発注プロセスを革新し、医療業界の新たなインフラを実現できると考えております。メディカルフォースは自由診療・美容クリニック向けクラウド型電子カルテ「medicalforce」を運営しており、当社は同サービスの販売代理店契約を締結しております。これにより、当社の強みである医療機関ネットワークを活かして販売を拡大することで、今後も医療業界の発展に貢献していけると信じています。

なお、スマートクリニック事業の主力事業である自動受付精算機とセルフ精算レジについては、従前から株式会社新世紀とOEM契約を通じて代理店として提供を行っていましたが、当連結会計年度の第4四半期にクリニック向け自動精算機の国内の医科歯科無床診療所における総販売代理店契約を同社と締結しました。締結の背景は、よりパートナーシップを強化し、サービス普及の拡大を目的として合意いたしました。

今後も医療機関の事務業務量の課題を解決しつつ、「多くの待ち時間と短い診察時間」という患者さんの抱える社会的不満を医療DXの推進を通じて解決することを引き続き目指します。

この結果、セグメント売上高は2,676,552千円（前年同期比41.0%増）、セグメント利益は680,304千円（前年同期比63.7%増）となりました。

これらの結果、当連結会計年度における売上高は8,683,488千円（前年同期比33.3%増）となり、営業利益は2,301,471千円（前年同期比32.7%増）、経常利益は2,309,512千円（前年同期比34.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,726,894千円（前年同期比37.0%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末と比べ2,784,550千円増加し、8,199,474千円となりました。これは主に現金及び預金が2,105,072千円増加したこと、売掛金が489,648千円増加したこと、繰延税金資産が94,395千円増加したことによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ794,135千円増加し、2,162,185千円となりました。これは主に短期借入金が300,000千円増加したこと、未払法人税等が203,374千円増加したこと、未払費用が76,933千円増加したこと、契約負債が56,018千円増加したこと、未払消費税等が54,368千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ1,990,415千円増加し、6,037,288千円となりました。これは主に新株予約権の行使により資本金が12,250千円、資本剰余金が12,250千円増加したことや、新株予約権が257,411千円増加したこと、親会社株主に帰属する当期純利益1,726,894千円を計上したことにより利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1,822,117千円（前連結会計年度は1,203,079千円の収入）となりました。主な増加要因は、税金等調整前当期純利益2,341,622千円、減価償却費73,711千円、株式報酬費用254,543千円、主な減少要因は、売上債権の増加額489,639千円、法人税等の支払額506,807千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、94,238千円（前連結会計年度は113,450千円の支出）となりました。主な増加要因は、保険積立金の解約による収入43,280千円、主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出57,030千円、長期預け金の預入による支出83,427千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、376,818千円（前連結会計年度は1,131,226千円の収入）となりました。主な増加要因は、短期借入による収入300,000千円、長期借入れによる収入100,000千円、株式の発行による収入24,500千円であり、主な減少要因は、長期借入金の返済による支出48,289千円であります。

(4) 今後の見通し

一般の我が国経済は、社会経済活動の正常化が進み、景気は持ち直しの動きが見られました。一方で、世界的な金融引締めに伴う為替市場への影響、中国経済の先行き懸念、物価の上昇など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済情勢のもと、当社グループでは「ヒトと医療をつないで健康な社会を創る」をミッションとし、メディカルプラットフォーム事業のビジョンを「21世紀型の医療インフラを創る」、スマートクリニック事業のビ

ジョンを「クリニックオートメーションによる患者さんの利便性・クリニックの生産性最大化」と定め、利用者・医療機関の皆様にサービスを提供してまいります。

我が国の少子高齢化は急速に進行し、構造的な人手不足も相まって、医療提供体制の維持は深刻さを増しております。限りある医療資源を有効活用すべく、AI・大規模言語モデル活用、DX推進を通じ、社会課題への対応を進めます。

このような環境下の中、2025年3月期の連結業績の見通しについては、売上高10,929百万円（前年同期比25.9%増）、営業利益2,753百万円（前年同期比19.6%増）、経常利益2,733百万円（前年同期比18.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益1,870百万円（前年同期比8.3%増）を予想しております。

既存事業の強化はもとより幅広い業界との提携による新たな価値創出を通じて、過去最高益を実現する事業基盤を構築してまいります。戦略と連動した人材の獲得や社員の成長と活躍を促進することで、サステイナブルな成長の実現を目指します。

上記の連結業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは日本基準を採用していますが、IFRS（国際財務報告基準）については、今後も制度動向等を注視し適切に対応してまいります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,860,506	5,965,579
売掛金	995,318	1,484,966
商品	14,273	31,055
仕掛品	6,598	5,198
その他	121,809	150,002
貸倒引当金	△23,646	△26,742
流動資産合計	4,974,860	7,610,060
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	130,429	149,270
車両運搬具	18,423	10,880
工具、器具及び備品	103,814	148,538
リース資産	19,202	19,202
その他	—	4,057
減価償却累計額	△119,024	△187,505
有形固定資産合計	152,847	144,444
無形固定資産		
その他	4,916	3,267
無形固定資産合計	4,916	3,267
投資その他の資産		
投資有価証券	692	692
敷金	192,337	177,416
繰延税金資産	68,489	162,884
その他	20,780	100,708
投資その他の資産合計	282,299	441,702
固定資産合計	440,063	589,414
資産合計	5,414,923	8,199,474

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	159,551	159,635
短期借入金	—	300,000
1年内返済予定の長期借入金	19,128	56,945
リース債務	2,178	—
未払金	183,490	233,231
未払費用	185,878	262,812
未払法人税等	307,129	510,504
未払消費税等	154,030	208,398
契約負債	249,119	305,138
賞与引当金	45,000	40,000
その他	29,199	49,324
流動負債合計	1,334,706	2,125,992
固定負債		
長期借入金	6,941	20,835
その他	26,401	15,358
固定負債合計	33,342	36,193
負債合計	1,368,049	2,162,185
純資産の部		
株主資本		
資本金	760,991	773,241
資本剰余金	660,991	673,241
利益剰余金	2,614,710	4,331,123
自己株式	—	△81
株主資本合計	4,036,693	5,777,525
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,687	2,351
その他の包括利益累計額合計	1,687	2,351
新株予約権	—	257,411
非支配株主持分	8,492	—
純資産合計	4,046,873	6,037,288
負債純資産合計	5,414,923	8,199,474

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	6,513,466	8,683,488
売上原価	1,723,556	2,130,297
売上総利益	4,789,910	6,553,190
販売費及び一般管理費	3,055,973	4,251,719
営業利益	1,733,937	2,301,471
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	137	82
解約金収入	4,213	4,783
受取手数料	2,036	3,568
その他	2,210	248
営業外収益合計	8,597	8,682
営業外費用		
支払利息	1,521	555
株式公開費用	25,500	—
その他	614	86
営業外費用合計	27,635	641
経常利益	1,714,898	2,309,512
特別利益		
固定資産売却益	2,394	—
子会社清算益	3,174	10,284
保険解約返戻金	—	21,825
特別利益合計	5,568	32,109
特別損失		
子会社清算損	2,690	—
特別損失合計	2,690	—
税金等調整前当期純利益	1,717,776	2,341,622
法人税、住民税及び事業税	459,392	707,056
法人税等調整額	△4,884	△94,395
法人税等合計	454,508	612,660
当期純利益	1,263,268	1,728,961
非支配株主に帰属する当期純利益	3,156	2,067
親会社株主に帰属する当期純利益	1,260,112	1,726,894

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	1,263,268	1,728,961
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△716	663
その他の包括利益合計	△716	663
包括利益	1,262,552	1,729,625
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,259,395	1,727,557
非支配株主に係る包括利益	3,156	2,067

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	115,000	15,000	1,354,597	—	1,484,597
当期変動額					
新株の発行	602,866	602,866			1,205,733
新株の発行(新株予約権の行使)	43,125	43,125			86,250
自己株式の取得					—
親会社株主に帰属する当期純利益			1,260,112		1,260,112
連結除外に伴う利益剰余金の増加額					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	645,991	645,991	1,260,112	—	2,552,095
当期末残高	760,991	660,991	2,614,710	—	4,036,693

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	2,404	2,404	—	5,336	1,492,338
当期変動額					
新株の発行					1,205,733
新株の発行(新株予約権の行使)					86,250
自己株式の取得					—
親会社株主に帰属する当期純利益					1,260,112
連結除外に伴う利益剰余金の増加額					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△716	△716	—	3,156	2,439
当期変動額合計	△716	△716	—	3,156	2,554,535
当期末残高	1,687	1,687	—	8,492	4,046,873

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	760,991	660,991	2,614,710	—	4,036,693
当期変動額					
新株の発行					—
新株の発行（新株予約権の行使）	12,250	12,250			24,500
自己株式の取得				△81	△81
親会社株主に帰属する当期純利益			1,726,894		1,726,894
連結除外に伴う利益剰余金の増加額			△10,480		△10,480
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	12,250	12,250	1,716,413	△81	1,740,831
当期末残高	773,241	673,241	4,331,123	△81	5,777,525

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	1,687	1,687	—	8,492	4,046,873
当期変動額					
新株の発行					—
新株の発行（新株予約権の行使）					24,500
自己株式の取得					△81
親会社株主に帰属する当期純利益					1,726,894
連結除外に伴う利益剰余金の増加額					△10,480
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	663	663	257,411	△8,492	249,583
当期変動額合計	663	663	257,411	△8,492	1,990,415
当期末残高	2,351	2,351	257,411	—	6,037,288

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,717,776	2,341,622
減価償却費	54,259	73,711
株式報酬費用	—	254,543
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9,241	3,096
賞与引当金の増減額 (△は減少)	30,000	△5,000
固定資産売却益	△2,394	—
子会社清算損益 (△は益)	△483	△10,284
受取利息及び受取配当金	△137	△82
保険解約戻戻金	—	△21,825
支払利息	1,521	555
株式公開費用	25,500	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△272,201	△489,639
棚卸資産の増減額 (△は増加)	4,059	△15,375
仕入債務の増減額 (△は減少)	49,382	84
契約負債の増減額 (△は減少)	△32,217	56,018
その他	117,971	141,960
小計	1,683,796	2,329,385
利息及び配当金の受取額	137	82
利息の支払額	△1,437	△543
法人税等の支払額	△479,416	△506,807
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,203,079	1,822,117
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	15,001	—
有形固定資産の取得による支出	△91,733	△57,030
無形固定資産の取得による支出	△1,659	—
有形固定資産の売却による収入	4,110	—
子会社の清算による収入	4,469	8,694
敷金及び保証金の差入による支出	△43,642	△4,913
敷金及び保証金の回収による収入	1,432	588
長期預け金の預入による支出	—	△83,427
保険積立金の解約による収入	—	43,280
その他	△1,430	△1,430
投資活動によるキャッシュ・フロー	△113,450	△94,238
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△62,370	300,000
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△67,288	△48,289
株式の発行による収入	1,291,983	24,500
リース債務の返済による支出	△5,598	△2,178
新株予約権の発行による収入	—	2,868
株式公開費用の支出	△25,500	—
自己株式の取得による支出	—	△81
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,131,226	376,818
現金及び現金同等物に係る換算差額	148	773
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,221,003	2,105,470
現金及び現金同等物の期首残高	1,639,503	3,860,506
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△397
現金及び現金同等物の期末残高	3,860,506	5,965,579

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社は、本社に製品・サービス別の事業本部を置き、各事業本部は、取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは、「メディカルプラットフォーム事業」、「スマートクリニック事業」の2つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2, 3)	連結 財務諸表 計上額 (注4)
	メディカル プラットフォーム 事業	スマート クリニック 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,082,759	1,898,790	5,981,550	531,915	6,513,466	—	6,513,466
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,082,759	1,898,790	5,981,550	531,915	6,513,466	—	6,513,466
セグメント利益	2,266,550	415,582	2,682,133	160,491	2,842,624	△1,108,687	1,733,937
セグメント資産	827,618	425,849	1,253,468	131,461	1,384,929	4,029,993	5,414,923
その他の項目							
減価償却費	23,707	10,601	34,309	4,332	38,642	15,617	54,259
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	47,983	27,442	75,426	12,137	87,564	12,820	100,384

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、WEB制作・保守事業、コンサルティング事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,108,687千円は報告セグメントに配分していない全社共通費用であります。

3. セグメント資産の調整額4,029,993千円は、主に報告セグメントに帰属しない全社的資産であります。

4. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2, 3)	連結 財務諸表 計上額 (注4)
	メディカル プラットフォーム 事業	スマート クリニック 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,422,111	2,676,552	8,098,664	584,824	8,683,488	—	8,683,488
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,422,111	2,676,552	8,098,664	584,824	8,683,488	—	8,683,488
セグメント利益	2,975,325	680,304	3,655,629	173,473	3,829,102	△1,527,630	2,301,471
セグメント資産	1,014,401	740,544	1,754,946	149,743	1,904,690	6,294,783	8,199,474
その他の項目							
減価償却費	33,384	21,393	54,778	2,832	57,610	16,100	73,711
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	31,195	21,648	52,844	3,205	56,049	11,520	67,569

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、WEB制作・保守事業、コンサルティング事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,527,630千円は報告セグメントに配分していない全社共通費用であります。

3. セグメント資産の調整額6,294,783千円は、主に報告セグメントに帰属しない全社的資産であります。

4. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報
前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	メディカルプラットフォーム事業	スマートクリニック事業	計		
一時点で移転される財	3,986,446	1,567,350	5,553,796	212,001	5,765,798
一定の期間にわたり移転される財	96,313	331,440	427,754	319,914	747,668
顧客との契約から生じる収益	4,082,759	1,898,790	5,981,550	531,915	6,513,466
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,082,759	1,898,790	5,981,550	531,915	6,513,466

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、WEB制作・保守事業、コンサルティング事業等を含んでおります。

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	メディカルプラットフォーム事業	スマートクリニック事業	計		
一時点で移転される財	5,306,110	2,177,857	7,483,967	282,573	7,766,540
一定の期間にわたり移転される財	116,001	495,035	611,037	302,251	913,288
顧客との契約から生じる収益	5,422,111	2,672,892	8,095,004	584,824	8,679,828
その他の収益	—	3,659	3,659	—	3,659
外部顧客への売上高	5,422,111	2,676,552	8,098,664	584,824	8,683,488

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、WEB制作・保守事業、コンサルティング事業等を含んでおります。

2. 「その他収益」の区分は、機器等のレンタルに係る売上であります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	229.47円	324.82円
1株当たり当期純利益	76.61円	97.35円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	73.07円	96.50円

(注) 1. 当社は、2022年12月23日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から前連結会計年度の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,260,112	1,726,894
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,260,112	1,726,894
普通株式の期中平均株式数(株)	16,448,087	17,737,802
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	797,162	155,865
(うち新株予約権(株))	(797,162)	(155,865)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。